

セーフティネット部会について

改定の背景 (特に留意すべき状況)

第1回審議会で共有

- 1.子育て世帯の動態
- 2.賃貸居住の中年単身世帯の増加
- 3.住宅確保要配慮者の増加・多様化
- 4.住宅価格高騰
- 5.エリア特性により異なる空家の状況
- 6.マンションの2つの老いの進行
- 7.長期を見据えた新築と既存住宅の性能
- 8.市営住宅の現状(これまでの役割)
- 9.気候変動による災害の頻発化・激甚化
- 10.高度経済成長期等に計画開発された良質な住宅地の蓄積
- 11.地域の担い手の変化

論点

第2回審議会で検討

数日
と本
その
のの
活住
用宅
のス
あり
ツ
方ク

- ⇒若者・子育て世帯の転入、定住促進
- ⇒循環型社会・サーキュラーのリード
- ⇒空家化予防の強化とエリアごとの空家の流通促進
- ⇒新築・既存ストックの性能向上
- ⇒住宅地の価値向上
- ⇒コミュニティ形成、新たな担い手確保

気候変動への適応策と緩和策

マンション部会

- 管理適正化：要支援マンションへのメリハリをつけた支援のあり方
- 超長寿命化・再生：超長期を見据えたマネジメントと住宅性能の確保

セーフティネット部会

- SN対応の住宅：中長期的に確保しておくべきストックボリュームのあり方
- 居住支援：公・民、住宅・福祉の連携による居住支援のあり方
- 市営住宅：機能向上など、今後の市営住宅のあり方

セーフティネット部会スケジュール

	第1回 審議会	専門部会	第2回 審議会	第3回 審議会	第4回 審議会	第5回 審議会		令和9年 4月頃	令和9年 6月頃	令和10年 3月頃
令和8年 4月6日	令和8年 5月～8月	令和8年 9月1日	令和8年 10月22日	令和8年 12月18日	令和9年 3月16日					
議論の内容	諮問	<ul style="list-style-type: none"> ●マンション(3回) ●<u>セーフティネット(2回)</u> 	専門部会における 議論とりまとめ	住生活 基本計画 ・改定骨子案	<ul style="list-style-type: none"> ・改定骨子案 (議論) ・改定素案 ・答申素案 	<ul style="list-style-type: none"> ・改定案 ・答申案 	→	答申	パブリック コメント	改定

第1回 セーフティネット部会	第2回 セーフティネット部会
令和8年5月28日【本日】	令和8年7月15日
・重層的な住宅 セーフティネットの対応	・住宅セーフティネットの さらなる充実

- 【オブザーバー】
 専門家や福祉関係団体関係者に御出席いただき、
 専門的見地から、御意見をいただく予定です。
- 【オブザーバー(予定)】
- ・学識経験者 (大学)
 - ・公益社団法人 全日本不動産協会
 - ・NPO法人 かながわ外国人すまいサポートセンター
 - ・全国手をつなぐ育成会連合会
 - ・横浜市住宅供給公社